

獣医療面接で模擬クライアントからの信頼獲得に 寄与する因子の検出

友野 悠^{1),2)} 折戸謙介²⁾ 大倉健宏³⁾ 木村祐哉⁴⁾ 久末正晴^{2)†}

- 1) ヤマザキ動物看護大学動物看護学部 (〒192-0364 八王子市南大沢4-7-2)
- 2) 麻布大学獣医学部 (〒252-5201 相模原市中央区淵野辺1-17-71)
- 3) 麻布大学生命・環境科学部 (〒252-5201 相模原市中央区淵野辺1-17-71)
- 4) 北里大学獣医学部 (〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1)



本文はこちら

(2021年7月9日受付・2022年4月22日受理・2022年6月15日公開)

要 約

獣医科大学における医療面接実習で、模擬クライアントの学生評価を学生の性別、オープニング、開放型及び閉鎖型質問、クロージング、共感的態度や解釈モデル、並びに信頼獲得に関する17項目から成るアンケート形式で実施し、その成績をもとに模擬クライアントの信頼獲得に寄与している因子を検出した。「信頼」との相関の大きさが「解釈モデルの理解」、「共感」、「閉鎖型質問」、「敬語」、「要約」、「動物に挨拶」の順で認められた ($r=0.48\sim0.64$)。「信頼」を目的変数とし、その他の学生の態度に関する変数を説明変数として強制投入した重回帰分析では、「敬語」「解釈モデルの理解」「閉鎖型質問」「身だしなみ」が有意であった。したがって、それらの態度の改善がクライアントからの信頼獲得に重要であり、今後の大学教育と臨床現場に反映させることの必要性が示された。

——キーワード：コミュニケーション、医療面接、信頼関係の構築。

-----日獣会誌 75, e122～e127 (2022)